

令和3年度入学対象入学式 学長式辞（令和3年4月3日）

新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。駿河台大学教職員一同、皆さんを心より歓迎申し上げます。ご父母の皆さまにおかれましては、ご子息、ご令嬢のご入学を心よりお祝い申し上げます。また、ご来賓の皆さまにおかれましては、ご多忙の中、本学の入学式にご臨席賜り、厚くお礼申し上げます。

本学は、「愛情教育」を建学の精神として、昭和62年に創設されました。この愛情教育の精神は、教職員が「一人ひとりの学生をありのままにみつめ、一人ひとりの夢とその歩みを支援し、自立を促す教育」を行い、豊かな人間性を育てていくことを意味しています。本学は、この考え方にに基づき、基礎的な教養や専門分野の知識、技能の修得を目指しています。

さて、皆さんが受験生として過ごしてこられたこの一年間は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、世界中がこの未知の脅威への対応をめぐって大きく揺れ動いた時期にあたります。先行きの見通せない状況の中にあって、不安な気持ちで毎日を過ごされた人も多かったのではないのでしょうか。コロナ禍は、世界が常に不安定であり、先を見通すことが困難であることを示す象徴的な出来事でもありました。

こうした予測不可能な事態が展開する中で、大学に求められているのは、いつの時代にも通用する普遍的な能力を身に付けた人材の育成です。さまざまな角度から物事を見つめ広い視野から筋道を立てて考える力、自ら行動を起こし柔軟に対応しながら粘り強く課題に取り組む目標を達成する力、相手の意図や置かれている状況を理解した上で自分の意見を適切に主張する力などは、時代を超えて求められる普遍的な能力です。本学では、これらの力を「駿大社会人基礎力」と称して、教育活動全体を通じて育成することとしています。

皆さんは、ぜひ本学の用意した教育プログラムを積極的に活用して、自分をみがき、社会人として必要とされる基礎的な力を身につけてください。なお、今回のコロナ禍への対応として、本学では遠隔授業、すなわちオンラインを活用した教育を本格的に導入しました。これにより、講義科目においても双方向型学習の利点を活かすなど、逆境をむしろ踏み台に変えるべく教育の質の向上に取り組んでいます。大学の授業は教員から学生に向けて一方向になされるだけのものではありません。どうか、授業に参加し、教員と一緒に議論し考え、よりよい授業をともに作り上げていってください。

こうした大学での学びの内容は、高校とはずいぶんと異なり、戸惑う人もいるかと思えます。また、大学生活になじむことに様々な不安があるかもしれません。何かあったら一人で悩まずに本学の教職員、スタッフに遠慮なく相談してみてください。

駿河台大学教職員一同は、皆さん一人ひとりの夢と歩みを尊重し、その可能性を最大限発揮できるよう支援し、教育を行います。新入生の皆さんが大学生活を存分に楽しみ、四年間の学生生活を通じて心豊かに成長されることを願って、ご入学のお祝いの言葉と致します。

本日は誠におめでとうございます。

令和3年4月3日
駿河台大学 学長 大森 一宏